

団体名	(公財) 静岡県国際交流協会	助成金名: 多文化共生のまちづくり促進事業	ジャンル
事業名	外国人住民の同行支援に伴う仕組みづくり事業		推進体制の整備

外国人住民の同行支援に伴う仕組みづくり事業

特徴 解決が難しい外国人住民の課題に対して、横断的・総合的・包括的に（相談対応で具体的な）支援が図れるような体制づくりを行う。

事業のポイント

- ◇各相談機関が、外国人住民相談者の背景や抱える課題を横断的に理解するための研修会を行った。
- ◇各相談機関の支援は専門分野別に行われているが、横断的・総合的な支援提供が図れるように、関係機関で具体的な相談事例を情報共有するとともに協力・連携方法を検討した。
- ◇横断的・総合的な支援提供のために必要な母語支援及びコーディネートする同行支援者の派遣を行った。

事業の背景・目的

- ◇一時減少に転じた外国人住民は、平成26年度から増加の状況にある。外国人住民は、定住傾向が強く、外国人住民の相談内容は多岐に渡り、専門機関相互の連携が必要となっている。
- ◇母語支援者の活動は人材や業務内容が限られているため、相談の初期から解決まで外国人住民の相談者に寄り添う通訳者やコーディネートの必要性が高まっている。
- ◇母語で説明を行う同行支援や一連の流れをコーディネートする人材及び支援体制がないため、外国人の相談は振り出しに戻り、さらには深刻なケースに陥った報告も受けている。

事業の概要

外国人住民の同行支援に伴う仕組みづくりと専門研修会の開催

○静岡県・市町・市町国際交流協会の担当者・外国人相談員や通訳者及び外国人住民が頼りにする宗教施設や外国コミュニティの支援員と、各専門機関(社会福祉協議会や女性相談員、弁護士等)に呼びかけ、「女性支援」「就労」「福祉」「医療」をテーマに、専門領域外の参加を促し、外国人支援に必要な専門知識や外国人特有の注意点などを学ぶ研修会を開催した。
各窓口での対応事例の検討を行い、課題解決に向けて必要な連携や支援について協議した。

(同行支援にかかる専門研修会の開催)

平成28年7月～平成29年2月
テーマ:「女性支援」「就労」「医療」「福祉」
会場: 県内東・中・西部

回数: 各3回(テーマ毎3回) 計 12回

(同行支援にかかる体制づくりのための事例検討会) 10回

専門研修会・事例検討会を合わせて合計400名(延べ人数)が参加した。

(同行支援の実践)

○研修会等で連携が進んだ専門機関(一時保護所、シェルター、医療機関等)へ、経験を積んだ通訳者及びコーディネーターを派遣し、母語支援者と専門機関との連携を具体的に進めた。

同行支援数 計 31回

○関係者間が常時情報交換をウェブ上で行うため、外国人相談員担当者専用サイトを作成した。専門家も閲覧し、助言などを入力する体制づくりに着手した。



「医療通訳の誤解やトラブルを減らすために」



宗教施設や専門家、通訳者が一同に会し協議

事業実施における工夫点・事業の成果等

◇外国人相談窓口及び各専門機関からの相談事例から、外国人住民が抱える生活上の課題を具体的に把握し、課題解決に向けた連携を協議した。

各相談窓口の対応内容を共有することにより、課題解決に向けた必要な連携が進んでいる。

◇ことばをつなぐ通訳支援者及びコーディネートする同行支援者の派遣の重要性について理解が深まった。

◇外国人相談員や専門機関、関係者間の情報共有から、必要な通訳者やコーディネーターの派遣を行った。

◇孤立している相談員同士が情報交換できる相談員専門サイトの運用を開始した。

◇関係者間の顔の見える関係づくりが進み、来年度に向けた合同相談会の開催などについて協議が始まった。



ホームページによる外国人相談員専門サイト



静岡済生会総合病院にて

今後の課題・将来に向けての展望等

◇定期的な顔合わせに加え、常時ウェブ上での情報交換ができるよう場を提供することにより、情報交換を活性化させる。

◇関係者間との連携の必要性を踏まえ、各専門家と協力してワンストップでの相談会の開催を行うとともに、同日に事例検討会を開催する。

◇外国人住民が日本人と同様の社会的サービスを受けるための環境整備に継続して取り組む。

事業担当者のふりかえり

外国人相談業務の中で、外国人相談員や通訳者との協議を平成 24 年度から進め、専門家との連携及び通訳者やコーディネーターの同行支援の必要性などについて、話し合っている。

複数の関係機関を横断し手続きや相談体制が求められるケースの場合、ことばや文化背景の違いから、日本人同様に進まないとの課題があるが、ワンストップで対応する支援者や関係機関はないため、問題は解決しないだけでなく、さらに複雑、深刻な相談内容となり時間と費用がかかってしまうケースが多い。

横断的・総合的な支援提供のために必要な母語支援及びコーディネートする同行支援者の派遣の必要性は深まったことから、関係者間との連携をさらに深め必要な同行支援者の予算化、組織化につなげたい。